

クォーク

■ 用語解説 ■

基本粒子の一種。日常見られる物質はクォークとレプトンから構成されている。クォークが集まってバリオン（陽子や中性子）や、メソン（中間子）となり、バリオンやメソンが集まって原子核となり、原子核と電子が集まって原子を構成し、原子が集まって分子を構成し、分子が集まって物質を構成する。バリオンとメソンなどクォークが集まってできた粒子をハドロン（重粒子）と呼ぶ。電子はレプトン（軽粒子）に属する基本粒子である。